

日本固有の新種

豊明のナガバノイシモチソウ

年に5日間の一般公開

県指定
天然記念物



花は赤（ピンクに近い）色で愛らしく可憐。モウセンゴケ科の食虫植物で、葉の表面にある腺毛から甘い匂いの粘液を分泌して昆虫を捕らえます。本市に自生する赤い花は、日本固有の新種で非常に珍しく、他のナガバノイシモチソウと異なります。これにより別種のもので「トヨアケ」を冠した学名の『*Drosera toyoakensis M. Watanabe*』が付けられております。



豊明市 ナガバ

検索

令和5年度 ナガバノイシモチソウ一般公開

日時：7月29日土、30日日、31日月、9月9日土、10日目
午前9:00～11:30（雨天中止）
（最終受付11:10まで 公開11:30まで）

受付：豊明市沓掛町小廻間（自生保護地）
駐車場：勅使グラウンド南側駐車場と沓掛城址公園駐車場
問い合わせ先：豊明市教育委員会 生涯学習課 TEL (0562) 92-8317

7月29日(土)・30日(日)は
午前9時～午前11時30分の間、
5～10分間隔で巡回バスを運行します。

ナガバノイシモチソウ

勅使グラウンド駐車場

大狭間湿地

注意事項

1. 入場制限をする場合があります。
2. 熱中症予防のため飲み物をお持ちください。
3. 三脚など撮影機材の持ち込みを制限する場合があります。